

第 20 期 pES club シナリオ 3

2021 年 4 月 18 日

日本大学歯学部 歯科保存学第Ⅲ講座

蓮池 聡

東京医科歯科大学大学院 健康推進歯学分野

南郷 里奈

社会福祉法人聖母会 聖母病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたはピコデンタルクリニックに勤める 5 年目歯科医師です。芳賀譲武さん（84 歳男性）は、3 年前から 4 ヶ月に一度のペースで SPT のために来院しています。主にプラークコントロールの確認、スケーリング、PMTC などを行い、歯ぐきの腫れやう蝕などの問題が認められた場合には、積極的な治療を行ってきました。

あなた「お体の調子はどうですか？」

芳賀「特に悪いところはないのだけど、最近もの忘れが多くて．．．困ったもんだよ」

あなた「そうですか。歯の調子はどうですか？」

芳賀「お陰様で何でも食べられるよ。ねえ先生！この間テレビで、歯の健康は認知症と関係するって言っていたけど本当かい？」

あなた「はい。ご自身の歯でよく噛む人は認知症に罹りにくいと言われてますよ」

芳賀「俺は歯が丈夫だから問題ないかね？テレビでは歯ぐきの腫れも関係するって言っていたけどどうなんだい？」

あなた「歯に問題がなくても、歯ぐきは炎症を起こします。そうすると炎症が全身に．．．」

と芳賀さんに説明しながら、本当に歯周炎が認知機能の低下の原因になるのか疑問に感じたあなたは、論文を調べてみることにしました。